

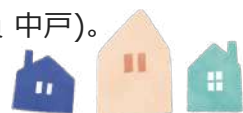


ひきふだ
引札は現在のチラシに相当する一枚摺りの広告で、江戸時代中期以後に登場します。これらは、開店や大売出しなどの宣伝、年末年始の挨拶のために商店の得意客に配られました。

明治29年(1896)発行の酒肴 辻村金次郎(垣鼻)の引札には、煙を上げて走る蒸気機関車が描かれています。明治に入ると国内にも鉄道が敷設されますが、26年の参宮鉄道津・宮川間の路線開通により松阪にも駅が設置されており、最新の話題を取り入れることで広告効果を高めています。引札のなかでも多色刷りの広告は「絵びら」と呼ばれ、明治・大正期に盛んに製作されました。「絵びら」は色彩や絵柄が華やかなために重宝され、各家の壁や風呂屋などの人が集まる場所に長期間貼り置かれることから、多くの人の注目を集めやすかったと思われます。ちなみに、このような「絵びら」は絵柄部分を先摺りし、白抜き部分に後から商品名・住所・店名などを入れる「名入れ」の方法で製作されたものが見られます。

昭和前期のカトウ洋品店(平生町)のチラシは、「秋の雑貨 運動会用品特別大売出し」の大きな見出しや「運動シャツ」やパンツなど体操着の特別なラインナップが目を引きまします。この洋品店のチラシからは、単に商品の情報だけでなく、学校の運動会シーズンに合わせて、地域の商店の大売出しが開催されていたという当時の人々の生活を読み取ることができます。

旧小津清左衛門家では、次回企画展として「松阪広告百景」(8/5(火)~9/28(日))を開催します。人々の暮らしとともにあり、人々の記憶に残る様々な広告をお楽しみいただければ幸いです(学芸員 中戸)。



カトウ洋品店のチラシ



酒肴 辻村金次郎の「絵びら」



歴史文化3施設のご案内

【開館時間】
9:00~17:00 (16:30までにご入館ください)
【休館】
水曜日(祝日の場合は翌平日)/年末・年始

【連絡先】
◆旧長谷川治郎兵衛家
Phone: 0598-21-8600
◆旧小津清左衛門家
Phone: 0598-21-4331
◆原田二郎旧宅
Phone: 0598-23-1656

発行 NPO法人松阪歴史文化舎
〒515-0082 松阪市魚町1653
Phone 0598-21-8600 (事務所)
E-mail info@rekishibunkasha.onmicrosoft.com



蝉時雨が降り注ぎ、いよいよ夏本番。松阪のまちは、年に一度の熱い祭りに沸き立ちます。

今回の表紙を飾るのは、松阪の夏の風物詩、松阪祇園祭の一コマ、国の重要文化財である旧長谷川治郎兵衛家の前を御神輿が通り過ぎる瞬間です。商家として栄えた歴史ある建物の前で、祭りの熱気が最高潮に達するこの光景は、訪れる人々をタイムスリップしたかのような感覚に誘い、松阪ならではの歴史と文化の魅力を存分に感じさせてくれます。

このまつりは、江戸時代から続く伝統あるお祭り。毎年、力強い掛け声とともに練り歩く御神輿が、城下町の風情を残す松阪のまちなかを一層活気づかせます。

本号では、旧長谷川治郎兵衛家をはじめ、旧小津清左衛門家、原田二郎旧宅といった歴史的建造物で開催されている企画展やイベント、日々の活動の様子をご紹介します。地域の宝である伝統と文化が息づく松阪へ、ぜひ足をお運びください。



長谷川家に伝わる江戸時代の摺り物
4月8日(火)～7月6日(日)

長谷川家には、江戸時代の出
版物や御札など様々な摺り物が
伝えられています。本企画展で
は、多種多様な出版物や版元が
松阪の稀書、長谷川家が製作し
た版木によって摺られた御札な
どを展示し、こうした摺り物か
ら、長谷川家の趣味教養や家内
安全などの想いをご紹介します。



【火用心版木】文政13年(1830)

長谷川家で涼を味わう -夏を彩る扇と団扇-
7月8日(火)～9月28日(日)

長谷川家所蔵の扇や団扇、ま
たそれらを意匠に取り入れた
品々を紹介します。多彩な美し
さに触れながら、目にも涼しい
ひとときをお楽しみください。



【御所解模様打掛】大正頃

【学芸員による展示解説】
8/2(土)、9/6(土)
11時より20分程度

旧小津清左衛門家

没後230年記念展 書家韓天寿
5月20日(火)～8月3日(日)

韓天寿(1727-1795)は
松阪の商家中川家の当主で
ありながら、書家としても
活躍し、中国の拓本や法帖
を蒐集した文化人です。本
展では彼の書画作品ととも
に、その功績も紹介します。



【印判(韓天寿)】
江戸中後期

【学芸員による展示解説】7/13(日) 11時より20分程度

伊勢参りの旅人で賑わい宿場町
として発展してきた松阪の街は、
江戸から昭和へと時代は変わって
も、賑わいは衰えることなく、商
店が趣向を凝らした看板や広告が
あふれました。本企画展では、明
治期の引札や昭和期のチラシなど
をご紹介します。



【引札】明治頃

【ミニ講座】広告から見た松阪
9/20(土) 10時より1時間程度

【学芸員による展示解説】8/23(土)、9/20(土) 11時より20分程度

原田二郎旧宅

原田二郎とその師たち
4月29日(火・祝)～7月21日(月・祝)

原田二郎(1849-1930)は、
実業家として活躍する一方で、
多くの師から学びを受けました。
本展では、久世安庭や大林省軒、
佐々木弘綱、佐佐木信綱ら原田
二郎の師たちに焦点を当て、彼
らにまつわる品々を展示します。



【原田嘉朝集】
昭和6年(1931)

松坂城主 古田重勝と弟重治
7月24日(木)～9月28日(日)

古田重勝は、秀吉の命により文禄4年(1595)に松坂城
主となります。重勝没後は、弟の重治が重勝の遺児 希代
丸(後の重恒)を立て、自らは後見人として補佐役に徹し

ました。本企画展では、松
阪市内にのこる古田家に関
する資料を展示し、古田家
の足跡を紐解きます。



【古田重治書状】江戸初期

【学芸員による展示解説】8/16(土)、9/13(土) 11時より20分程度

— 2025年 春から初夏の催し報告 —

春の訪れとともに、旧長谷川治郎兵衛家・旧小津清左衛門家・原田二郎旧宅を舞台に、
地域の歴史や文化を感じていただける催しを開催しました。世代を問わず多くの方々にお
越しいただき、松阪の魅力を再発見していただく機会となりました。

綿の種プレゼント(4/1～)



旧長谷川治郎兵衛家の庭
で育てた綿の種を、来館さ
れた方へ配布しました。松
阪木綿の歴史や、綿の文化
に親しむきっかけとして、
多くの方にお持ち帰りいた
だきました。

旧家で落語を聴こう(4/20)



旧長谷川治郎兵衛家で、落語会
「旧家で落語を聴こう」を開催し
ました。趣のある空間に響く笑福
亭生喬さんの落語の語り口は、風
情と親しみを感じさせ、会場は笑
い声に包まれました。来場者から
は「旧家ならではの雰囲気を楽し
めた」と好評をいただきました。

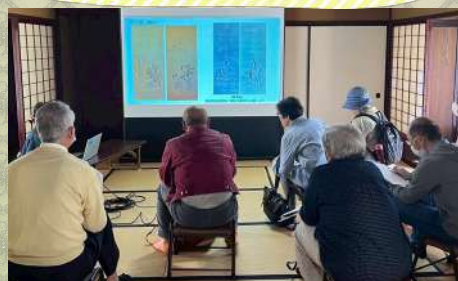
GWイベント(4/26～5/6)

ゴールデンウィーク期間中、松阪市では
旧家を巡るスタンプラリーや高校生による
松阪もめん作品展、甲冑体験、缶バッジ作
り、木版印刷体験(火用心・酒用心)、ミニ
三味線ライブなど多彩な催しを旧長谷川治
郎兵衛家・旧小津清左衛門家・原田二郎旧
宅で開催しました。来場者は町歩きや体験
を通して、松阪の歴史と伝統文化を楽しく
学ぶひとときを過ごしました。



ミニ講座(5/3)

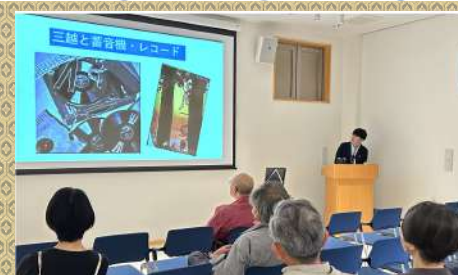
「小津茂右衛門コレクションが
ら見た松阪ゆかりの文人たち」



旧小津清左衛門家にて、小津
茂右衛門家旧蔵の貴重な資料を
もとに、松阪にゆかりのある文
人たちの姿を当館の学芸員が紹
介しました。歴史的な資料に触
れながら、地域文化への理解を
深める貴重な機会となりました。

講座(5/4)

「絵葉書とレコードでたどる三越」



豪商のまち観光交流センターにて、
当館学芸員による講座「絵葉書と
SPレコードでたどる三越の歴史」
が開催されました。百貨店・三越の
歩みを、視覚と音でひもどく内容に、
参加者は熱心に耳を傾けていました。
本講座は、併設企画展「三越を見
る・聴く」(4月9日～5月12日)と
連動して実施されました。

(5/18)

旧家で聴く 初夏の朗読

旧小津清左衛門家にて、松阪お
話キャラバンの皆さまによる絵本
や紙芝居の朗読会を開催しました。
子どもから大人まで幅広い世代が
集い、物語の世界に浸るひととき
をお楽しみいただきました。

